

和剣

和歌山県スポーツチャンバラ協会
〒641-0007 和歌山市小雑賀89
TEL 073-422-0308
FAX 073-427-6328

VOL. 54

2010年 2月 7日

1. 第4期定時総会のお知らせ。

標記の総会を2月27日(土)の午後7時から本町道場(福森理事管下)で開催しますので、役員の方におかれては予め日程調整をしておいて下さい。一般会員の皆さんも総会へ出席して議事について意見を述べ、質問をすることができます。

今次総会では2015年の「和歌山国体でのデモスポ競技化」と「今後の事業計画に連動した、当面の段位審査会と審判講習会の在り方」の2テーマも大きな議題となります。

皆さんの率直な御意見を期待します。

2. 合同稽古会についてのお知らせ。

1月16日に予定していた第18回合同稽古会は不都合者が多いことなどから、これを中止。

次回は3月20日(土)の午後7時から本町道場で実施の予定(奇数月の第3土曜日が定例日)。

3. 白浜町でのスポーツチャンバラ体験会の結果等のお知らせ。

昨年11月に引き続き、1月16日に大江理事が、標記の体験会を実施。盛況でした。既報のとおり、紀中地域に道場を開設する準備活動の一環として、インストラクター講習会の実施(3~6回シリーズ)を検討しています。会員の皆さんの御意見を寄せて下さい。

4. 「孫市祭り」に参加のお知らせ。

今年も3月28日(日)に開催される「孫市まつり」会場内へスポーツチャンバラ体験コーナーを設営しますので、役員・会員の皆様の積極的な参加・協力を御願います。好天の下で、ヒラヒラと舞い散る桜の花びらに戯れながら、大勢の人々と一緒に遊びたいものです。

◆一技の区分—古流剣術 ♥

戦場用の技、すなわち介者剣術の最大の特徴は、鎧を着けて大刀を振るう点にある。攻める側も守る側も、ともに頑丈な鎧具足で鉄壁のディフェンスを固めている以上、攻撃可能な部位は自ずと限られてくる。流派を問わず、古流剣術には手首を切り裂く技が目立つが、これは大量の出血を促してダメージを与えると同時に、鎧の装甲が行き届いていない急所を狙うという、介者剣術ゆえの実戦志向の現れに他ならないだろう。それに、合戦場での戦いは常に一対一というわけではない。敵武者の首を奪り、手柄を得ようともくろむ足軽たちが、人数に任せて集団で襲ってくるケースも当然出てくるに相違ない。正面の一人だけに限らず、殺到する敵を速やかに、確実に倒していかなければ、背後から長槍で串刺しにされてしまいかねない。前後左右、前後ろの伏兵にも常に注意を配りながら刀を振るう。だからこそ、確実に人体の急所を狙って攻撃することが、古流剣術・居合術の基本姿勢なのである。鎧の隙間に狙いを定めて、一瞬の差で巧みに突き、斬る。あるいは真っ向から斬り下ろして、鎧兜ごと敵を一刀両断に仕留める。流派によって刀法は異なるが、いずれも合戦場における白兵戦を前提として、体系化された技である。(牧 秀彦 著「剣技・剣術 二」株式会社 新紀元社 発行 より抜粋)